

# 新型コロナウイルス 感染拡大予防に関するマニュアル

当マニュアルは閲覧用につき、カフェマニュアル及び緊急閉鎖時の事務所機能移動マニュアル等は除外してあります。

然別湖ネイチャーセンター

2020年5月16日作成

2020年7月12日改訂

2021年4月28日改訂

北海道スタイル安全宣言に則り、感染拡大防止及び、安全第一のガイドスタイルを実践します。

スタッフ、お客様が双方で安心、安全な活動ができる事を目標に活動を続けます。

## 2. メニュー受け入れ体制について

# 「北海道スタイル」安心宣言

私たち《北海道知事認定アウトドアガイド》は  
新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため  
《5つのポイント》を実践いたします

## ● 自己の体調管理

日常生活においてマスク着用や手洗いに取り組むとともに、毎朝の検温等徹底した体調管理に努め、万全の態勢で顧客を受け入れます。



## ● 顧客の体調管理

ソーシャルディスタンスや咳エチケットを順守し、顧客に対しても「北海道スタイル」を呼びかけます。顧客の検温など体調チェックを徹底し、不調と判断した場合は中止。ガイディング後の手洗い等も徹底し、顧客の体調管理を行います。



## ● 人と人の接触機会の軽減

原則としてソーシャルディスタンスおよびマスクの着用をお願いします。また、1回1組6名までの定員を設定します。また、ガイドと顧客、顧客同士の距離が十分に確保できると判断した場合、顧客同意のもとマスクを外し「北海道の大自然の澄みきった空気を満喫していただきます」



## ● 換気・消毒・洗浄の徹底

事務室やトイレなど、顧客が立ち入る施設内の換気および顧客送迎車両の換気もこまめに行います。顧客が触れる可能性がある箇所や道具類は、使用前使用後の消毒・洗浄を徹底します。

※6月中は玄関軒下の野外で受付をしています。



## ● 北海道らしい旅のスタイルの定着促進

北海道の広い空の下で安心安全に楽しむことができるアウトドアアクティビティを北海道の強みと捉え、新型コロナウイルスに強い観光スタイルとして、さらなる定着を促進します。



然別湖を訪れる皆様に安心を！

## しかりべつ湖ネイチャーセンター



## 自然体験アクティビティ受け入れについて

感染拡大予防及び安全管理を目標として、積極的に運営するためのマニュアルです。

平時の活動に感染拡大予防を付加して、確実に実施できるように、スタッフ各自が確実に行動してください。

管理体制が確立したアクティビティ(以下:自然体験メニュー)を実施いたします。

なお、北海道発表する『新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に関する情報』の内容により、

受け入れ体制や体験に制限が加えられる可能性がございます。ご理解とご了承をお願いいたします。

### ●参加条件

- ・国が定める感染拡大中の地域以外の方。
- ・2週間以内の海外渡航歴がないこと。
- ・過去2週間以内に、新型コロナウイルスの感染者との濃厚接触が無いこと。
- ・体調の確認・・・体調不良及び発熱、頭痛、咳、倦怠感、味覚、嗅覚異常の障害が無いこと。
- ・マスク等・・・マスクの装着をお願いします。
- ・消毒・・・参加前に手洗いもしくはアルコール消毒をお願いします。

### ●受け入れ体制

原則として1アクティビティ最大6名の受け入れとなります。

団体は移動プロセス等の考慮が必要なため、受け入れ団体毎に調整させていただきます。

なお、繁忙期には、ガイドの状況をふまえ、実施回数増などの措置を行います。

### ●申し込み方法

ホームページの予約フォーム又はお電話にてお申し込み下さい。

参加当日の受付時の接触回数を軽減するため、**当社ホームページ予約フォームの申込**を推奨します。

### ●自然体験メニュー催行について

・北海道スタイル安心宣言に則った形で実施いたします。

・体調管理 ・手洗い ・備品の消毒 ・催行人数の制限 ・適度な社会的距離の実施

・ティータイムを実施していた自然体験メニューでは、しばらくの間ティータイムを休止させていただきます。

## 一般参加者受け入れ時の原則的な行動

### ① 健康状態の把握

非接触型体温計で体温の確認をします。(ボーダー 37.5°C)

### ② 手洗いとトイレのお願い

全ての行動を始める前に、消毒、トイレ、手洗いを済ませていただきます。

### ③ 受付

受付表記入。※受付表は新型コロナウイルス対応型に変更。

当社ホームページから予約の場合は、受付表の確認とチェックのみ。

支払いは現金又は電子決済、クレジットカード、クーポン。受け渡しはトレーを介しておこなう。

### ④ 荷物の保管

荷物預かりはビニール袋に入れてロッカーで保管。

### ⑤ 出発

## 団体旅行への考え方と対応について

然別湖までの経路などの状態も踏まえ、密になりすぎない状態を作りながら、活動します。

・到着後、各アクティビティ開始前に、アルコールによる手指消毒をします。

・アクティビティごとに必要な配慮などについて記載します。

・レクチャー時は、団体ごとの社会的距離を確認して、団体ごとの間隔で集合します。

・原則としてマスク着用していただきます。

以下、各詳細マニュアルに沿って実施。

各対策マニュアルは各ガイド部会により作成したもの。

# エアトリップ

安全衛生実施策 一般:各回 1組 6名まで。

## ① 受付

- ・手の消毒(アルコール消毒液)
- ・健康状態の確認
- ・体温の確認
- ・マスク装着の確認
- ・受付
- ・精算(オンライン受付表の活用、キャッシュレスの推奨)
- ・預かる荷物はビニールに入れて保管
- ・熱射、日射病対策として水をペットボトル販売する。

## ② 準備

・レンタル ハーネス・雨具・長靴・手袋

※消毒、洗浄したものを利用

チェックリスト(・申込書(チェックシート)・非接触体温計・販売用マスク 100円・販売用水100円・ツアー携行ドリンク用ポーチ・水保管用冷蔵庫・簡易タープ・ビニール袋)

## ③ 実施

・ガイドがグループコントロールしながら実施。 ※間隔等に留意。

## ④ 帰着

・使用した装備はそのまま洗浄、消毒を実施。(中性洗剤・アルコールなどケースにより)

※軍手・ヘルメット・ハーネス・長靴

※装備は乾燥室ですぐ乾燥。(現小さい部屋)

## ⑤ その他

・お茶タイムは当分の間無し。代替え措置として、水を販売

# カヌー・カヤック



安全衛生実施策 一般:各回 1組 6名まで。

## ① 受付

- ・健康状態の確認
- ・体温の確認
- ・マスク装着
- ・受付
- ・精算
- ・ロッカー使用の際は、45ℓの薄いビニール袋を渡す。

## ② 準備

- ・雨具(必要に応じて)
  - ・長靴(必要に応じて)
  - ・パドル
  - ・ライフジャケット(PFD)
- ※使用後に洗濯もしくは消毒

## ③ 実施

- ・ガイドの誘導より実施。(操船時はマスク自由)

## ④ 帰着

- ・雨具とPFDとパドルをネイチャーセンター前で回収
- ・装備の返却

ライフジャケットはアルコール消毒

雨具は中性洗剤及び流水にて洗浄。

## ⑥ その他

- ・ティータイムを自粛しているため、出発前に必要な飲料の購入を推奨。

# ガイドウォーク・ナイトウォッチング・リバーウォッチング

安全衛生実施策 一般:各回 1組 6名まで。



## ①受付(ネイチャーセンターにて実施)

- ・健康状態の確認 ・体温の確認 ・マスク装着 ・受付 ・精算
- ・ロッカー使用の際は、45%の薄いビニール袋に入れて保管。鍵は渡します。

## ②準備

- ・送迎用車両の消毒と可能な換気。(エアコン等は外気で使用)
  - ・雨具が必要な場合レンタル。
  - ・長靴(散策系)※必要に応じて
  - ・ウェーダー(リバーウォッチング)
- ※使用後に必ず洗濯もしくは消毒

## ③実施

- ・車による移動を伴う際は、換気を充分に行い、全員マスク着用必須。
- ・ツアー中の行動は、ガイドの指示により実施。
- ・ガイドはできるだけ集合を避け、社会的距離を意識しながら行動。

## ④帰着

- ・雨具と長靴及びウェーダーはネイチャーセンター前で回収
- ・雨具は中性洗剤及び流水にて洗浄。
- ・長靴は軽微な汚れの場合はアルコール消毒。ひどい汚れの場合は流水と洗剤にて洗浄。

## ⑤ その他

- ・ティータイムを自粛しているため、出発前に必要な飲料の購入を推奨。

# カナディアンカヌー 団体受け入れ時

## ● 感染拡大予防のポイント

- ・ 間隔を開ける。
- ・ 消毒された道具を使用する。



- カナディアンカヌーの体験を始めます。  
然別湖のカヌーは、然別湖温泉地域の徒歩 0 分の位置からスタートします。
  - ・ スタート前にトイレに行ってください。
  - ・ ネイチャーセンター脇に観光トイレがあります。



- カヌーレクチャー  
集合形態は、各学校が実施している方法に合わせる事が可能です。  
湖畔の園地は広い(実用600㎡以上)ので、間隔を開け、広がって  
拡声器を使用したレクチャーも可能です。



- カヌーレクチャー  
カナディアンカヌーは2人ひと組になって操船します。  
カヌーガイドによる操作説明のあと、陸上で操船練習をします。



- デモンストレーション  
陸上で練習したあとで、実際にカヌーの動きを見る  
デモンストレーションを行います。  
乗り降りやバランスの取り方、注意点などを  
わかりやすく説明します。



- 湖上散策  
ガイドが先頭をひきながら、湖上を散策します。  
ルートは当日の技量や自然の状況により変化します。

サポートのガイドが数艇置きに入り、参加者の操船を  
声かけなどによりフォローします。

湖上では充分に間隔を開けた状態でマスクを外し、  
大自然を感じながら深呼吸しましょう。



- カヌー終了  
カヌーポート（出発地点）まで戻ったら、  
ガイドの介助を受けながら陸へと戻ります。

カヌーは陸揚げ後直ちに消毒。  
使用したパドルやライフジャケットも  
アルコール消毒して清潔に保たれます。





# アウトドアランチ（団体専用メニュー）

アウトドアランチの活動軸は、グループワークによる昼食作りです。

- ・衛生及び感染拡大予防に注意を払いながら、料理の完成を目指します。
- ・完成した鍋料理は、取り箸などを使って完全に取り分けてから食べるなど、衛生に配慮します。
- ・従来 1 班 8 人程度から 1 班 6 人程度まで人数を分散させ、できるだけ密を避ける状態を作ります。
- ・アウトドアランチ体験中の飲料用の水やお茶は、スタッフの目の届く場所に配置。衛生に配慮します。

## ～然別湖ネイチャーセンター アウトドアランチ チキンチーズグリル体験の流れ～

\* 鹿追自然ランドで行います。



\* 1 班 6 名くらいが理想です。  
火の係 3 名  
タッチオープン調理の係 3 名



スープは  
全員分を  
スタッフが  
作ります。

\* 料理の係

まずは各テーブルで料理の説明を聞きます。  
各班のテーブルで材料を切ります。  
味付けは各テーブルにて味付けします。



\* 火の係

火興しの説明を聞きます。  
割り箸や枝 新聞紙で炭に火をつけます。  
最初は一生懸命回扇で扇ぎます。  
火が興ったら各テーブルの近くに運びます。



\* 味付けが終わり、火が興ったらコンロの上に鍋をのせます。  
ある程度火が通ったら炭の 7 割を蓋の上にのせます。



\* 鍋をのせたら、パンケーキの説明を聞いて、  
各班から作業を進めます。



\* チーズを入れて鍋が出来上がり。  
お玉を使って全ての具材を各自の皿に取り分けます。



\* 鍋が出来たらその蓋で  
パンケーキを焼きます。  
焼いたものは各自の皿にのせます。



\* 出来上がったら、コーンスープを班から 2 名くらいで取りに来て、班ごとに食べ始めます。  
食べ終わったら、紙の食器は各班でまとめて、他の調理器具も洗わずに、回収場所に返します。  
片づけ、テーブルの周りのゴミを拾ったら終了です。

# フィッシング

溪流で魚釣りをする自然体験メニューです。

釣り竿の間隔は、十分に距離をとれるが、体験前後には人が集るため、社会的間隔と接触の回避をはかる。

原則としてマスクはつけたまま実施します。



## ●レクチャー

- ・体験地河川より約50m離れた広場(約40㎡)にて釣り方の説明をします。
- ・釣り方及び川での安全な振る舞いなどの、セフティークをおこないます。
- ・釣り竿を各自。餌を班ごとに配布して釣りに出かけます。

## ●体験

- ・流域(最大約100m)を使って溪流釣りをおこないます。
- ・スタッフは等間隔に範囲割りをおこない、参加者を支援します。
- ・安全管理やアドバイスなど、常に参加者をバックアップをします。

## ●試食タイム

- ・参加者は所定の位置で釣り竿などを片付けた後に試食。
- ・試食時のお茶は、使い捨ての紙コップを利用して、スタッフの目の届く状態で利用します。

## ●活動終了へ

- ・バスに乗り込む際に靴の泥を落とす装置をセット。バスを清潔に保ちます。
- ・ガイド終了後に道具一式の洗浄と消毒を実施します。

※今年度からフィッシングの内容を変更予定です。変更内容確定後、内容を変更します。

# マウンテンバイク

マウンテンバイクで平均10kmの距離を走ります。当日の下見で最終的なルートを決めますが、概ねアップダウンのある砂利道を走行します。

感染拡大予防として実施するマスクの着用については、レクチャー時は着用していただきますが、走行時は熱中症対策のため、間隔を開けてマスクを外します。



## ●バス到着時

- ・手のアルコール消毒をお願いします。
- ・トイレは簡易式(2便槽)のみなので、事前経由地で済ます事を推奨します。

## ●レクチャー

- ・セフティーク、自転車のサドル合わせや簡易点検、操作説明をおこないます。
- ・実際に装備を身につけます。
- ・フィッティング、運行前点検
- ・練習タイム

## ●漕ぎ出し

1. 基本コース1 全長10km 高低差約80m
2. 基本コース2 全長6.2km 高低差約136m

数回の休憩をしながら進行。スタートゴールは同地点です。

- ・先頭に続いて走り、等間隔にスタッフがサポートのため配置されます。
- ・最後尾に機材及びサポート用の車両が走ります。
- ・スタッフ間は無線を使用して意思疎通しています。

## ●ゴール

- ・帰着後、装備戻し、健康状態の確認後バス移動、解散
- ・終了後装備一式の清掃、消毒、整備を実施。

# クラフト

森の音作り（オープン陶土を利用した土笛作り）



## ●実施場所

会場① 人数などを考慮し会場をネイチャーセンター内、ホテルの広間、野外タープ下で実施します。  
密な状態をできるだけ回避しながら机に4～8人程度の班分けで座ります。

会場② 野外に設置した、10人に1つ程度のコンロを設置。形成後の粘土を焼きます。

## ●レクチャー

- ・手洗いと手指の消毒をした後に着座。
- ・着座した状態で一連の製作工程についての操作方法の説明を受ける。

## ●製作開始

- ・各自製作作業開始。
- ・形が整った時点で野外に設置してあるコンロで焼く。

## ●終了

- ・焼き上がった時点で完了。
- ・必要に応じて会場①に戻りまとめも可能。

a. スタッフの発症疑いが出た対応

毎朝検温を各自で実施。異常があった場合は、フォローチャートに沿って動く。

新型コロナウイルス担当責任者：高附マネージャー

